

# タマネギ 調査方法

## 1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項 目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)		6畝×50株＝300株(4畝×20株＝80株)	9.5㎡(2.5㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	20株(10株)	0.6㎡(0.3㎡)
	収量調査等	100株(50株)	3.2㎡(1.6㎡)

\*:栽植密度を畝幅30cm×株間10.5cm、a当り3,175株としたときの面積

## 2 耕種概要

項 目		単 位	備 考
栽植密度	株数	(株/a)	
	畝幅	(cm)	
	株間	(cm)	
1区面積		(㎡)	
反復数		(反復)	
播種期		(月 日)	
定植期		(月 日)	
根切り期		(月 日)	
収穫期		(月 日)	
前作物			
堆肥施用		(kg/a、月 日)	
基肥量	N	(kg/a)	
	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	(kg/a)	
	K <sub>2</sub> O	(kg/a)	
追肥量	N	(kg/a)	
	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	(kg/a)	
	K <sub>2</sub> O	(kg/a)	
追肥施用日		(月 日、月 日)	
土壌区分			
土性			
腐植			
除草剤・病虫害防除		(薬剤名、月 日)	

### 3 生育調査

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
発芽試験	発芽勢	20℃恒温器置床後4日目	B	測定	%	1
	発芽率	置床後8日目	B	測定	%	1
出 芽	期	播種粒数の40～50%が出芽した日	B	観察	月日	1
	良 否	出芽の揃い、出芽勢の程度を観察 [良]5～[不良]1	B	観察	指数	1
定 植 時 の 苗 質	生葉数	初生葉を除く本葉数	B	測定	枚	0.1
	葉 長	最大葉長	B	測定	cm	0.5
	葉鞘径	葉鞘下の最も細い部分の長径	B	測定	mm	0.1
初期生育		定植1ヶ月後の地上部生育 [良]5～[不良]1	B	観察	指数	1
生 育 (盛期)	生葉数	緑色部が1/2以上残る生葉数	A	測定	枚	1
	葉 長	地際からの最大葉長。 葉の先端の枯れた部位を除いて測定	A	測定	cm	1
	葉鞘径	葉鞘下の最も細い部分の長径	A	測定	mm	0.1
	草 勢	[良]5～[不良]1	B	観察	指数	1
	葉 色	[濃]5～[淡]1	B	観察	指数	1
	草 姿	[直]5～[開]1	B	観察	指数	1
	葉折れ	[無]5～[甚]1	B	観察	指数	1
	均一性	[良]5～[不良]1	B	観察	指数	1
	葉先枯れ	[無]5～[甚]1	B	観察	指数	1

### 4 早晚性の調査

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
肥大期		最大球径が葉鞘径の2倍に肥大した個体が 40～50%に達した日	B	観察	月日	1
倒伏	始期	20%の個体が倒伏した日	B	観察	月日	1
	期	40～50%の個体が倒伏した日	A	観察	月日	1
	揃期	80%以上の個体が倒伏した日	B	観察	月日	1
枯葉期		40～50%以上の個体が枯葉した日	B	観察	月日	1

## 5 収量調査(a当り)

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
収穫球数	規格内	出荷基準による	B	測定	球	1
	規格外		B	測定	球	1
	青立	正常に倒伏しないもの	B	測定	球	1
	抽台		B	測定	球	1
	その他	異品種混入など	B	測定	球	1
	合 計		B	算出	球	1
	規格外球数割合	(規格外球数／調査球数)×100	A	算出	%	1
		下記基準による				
		小球:球径5cm以下	A	測定	%	1
		変形:歪みが激しい球	A	測定	%	1
		分球(炊き玉):内分球含む	A	測定	%	1
		長球:球形指数110以上 (縦径／横径)×100	B	算出	%	1
		扁平:球形指数80以下 (縦径／横径)×100	B	算出	%	1
		裂皮:外皮に1cm以上の亀裂	B	測定	%	1
		皮ムケ:外皮1/3以上が剥離	B	測定	%	1
	青立株率	正常に倒伏しないもの (青立株数／調査株数)×100	A	算出	%	1
	抽台発生率	(抽台株数／調査株数)×100	A	算出	%	1
	その他	異品種混入など (その他数／調査球数)×100	B	算出	%	1
収量	規格別球重	下記出荷基準による				
		2L以上:球径9cm以上	A	測定	kg	1
		L大:球径8－9cm	A	測定	kg	1
		L:球径7－8cm	A	測定	kg	1
		M:球径6－7cm	A	測定	kg	1
		S:球径5－6cm	A	測定	kg	1
	規格内収量	規格別球重合計×栽植本数／調査株数	A	算出	kg	1
	規格外収量	規格外重×栽植本数／調査株数	B	算出	kg	1
	総収量	規格内収量＋規格外収量	A	測定	kg	1
	規格内率	(規格内収量／総収量)×100	A	算出	%	1
障害株(球)割合	貯蔵前腐敗球数率	生育中、収穫後、貯蔵前の腐敗球 (腐敗球数／調査球数)×100 乾腐病＞軟腐＞ボトリチス＞肌腐れ症 ＞虫害＞他	A	算出	%	1
	乾腐病					
	軟腐病					
	ボトリチス					
	肌腐れ症					
	虫害					
	他					

## 6 球の特性調査

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
平均一球重		総収量／(規格内球数＋規格外球数)	A	算出	g	1
球形指数		規格内球の (球高／球径) × 100	B	算出		1
球品質	硬さ	[硬]5～[軟]1	B	観察	指数	1
	皮色	[濃]5～[淡]1	B	観察	指数	1
	揃い	[良]5～[不良]1	B	観察	指数	1
	皮むけ	[難]5～[易]1	B	観察	指数	1
	総合評価	[良]5～[不良]1	B		指数	1

## 7 貯蔵調査

項 目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
貯蔵後球数割合		一区50球以上貯蔵。下記分類による 併発の場合は、病害(乾腐病>軟腐病>ボトリチス属菌>肌腐れ症状>その他)>萌芽>発根とする。 貯蔵開始日、終了日および調査日、貯蔵温度を明記。	A	算出	%	0.1
	健全球	外観の変形および腐敗のないもの				
	茎盤突出球	茎盤部分1/2以上に明らかな突出が見られるが未発根のもの				
	発根球	2mm以上の発根がみられるもの				
	萌芽球	球から萌芽しているもの				
	腐敗球	乾腐病、軟腐病、ボトリチス属菌、肌腐れ症およびその他に分類する				
	皮むけ程度	貯蔵明けの皮むけ、[少]5～[多]1	B	観察	指数	1

## 8 調査試験栽培上の留意点

- 1) 球規格内外の判断は地域での出荷基準に合わせる。
- 2) 草姿、果形の調査基準は、農林水産省品種登録ホームページの「農林水産植物種類別審査基準―たまねぎ種」を参考にする。